



## 第1章 はじめに

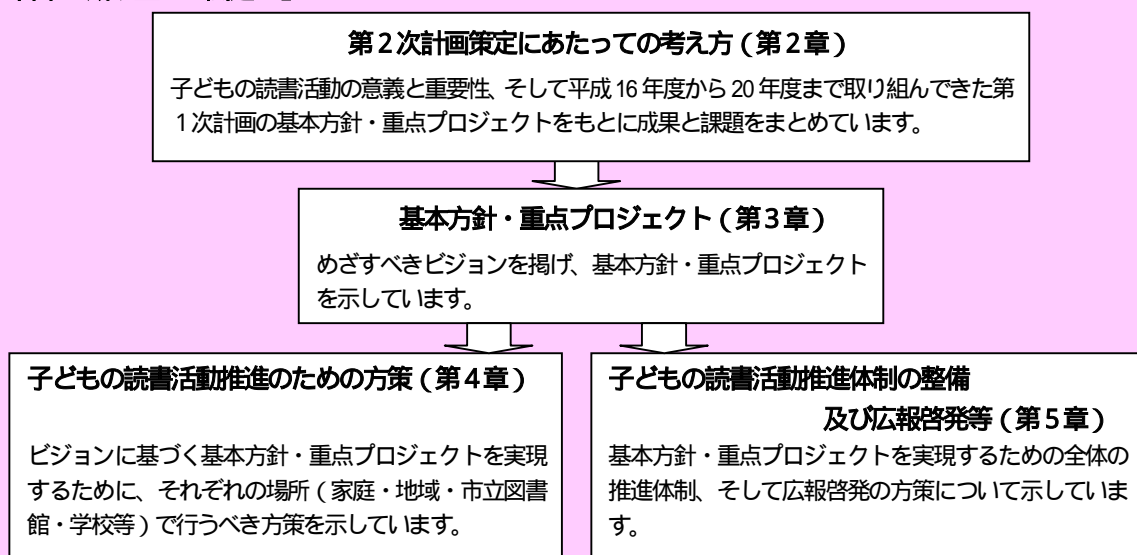
今日、社会や環境の急激な変化により、私たちの生活の中にテレビやゲーム、携帯電話、インターネットなどが著しく普及し、子どもは多種多様の情報に接して生活しています。また、地域の人間関係の希薄化や核家族化、少子化といった社会形態の変化により、人と人との交流が減り、対人関係をうまく結べない子どもが増えていることが懸念されています。

このような中で、子どもの人間らしい感情を育て、心を豊かに育み、想像力や表現力を高め、人生をよりよく生きていく力を身につけるものとして読書が注目されています。

本市では、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が施行されたことを契機に、平成16年3月に「津山市子ども読書活動推進計画～つやまっ子読書プラン～」(以下、「第1次計画」という。)を策定しました。津山を理解し、愛する子どもを育て、本と仲良くなる子が一人でも多くなることを願い、本との出会い、きっかけづくりを行うことをめざし、平成16年度から20年度までの5年間、家庭・地域・学校等で様々な取り組みを行ってきました。第1次計画策定から5年を迎えた現在、全国学力・学習状況調査の結果から読書が好きなことと学力は相関関係があると分析されており、子どもの読書活動はますます重要視されています。

津山市では、子どもの自主的な読書活動を引き続き推進していくために、第1次計画に基づいた取り組みの成果と課題を検証し、平成21年度から25年度を実施期間とする「第2次津山市子ども読書活動推進計画～つやまっ子読書プラン～」(以下、「第2次計画」という。)を新たに策定しました。

### 【 各章の成り立ちと関連 】



#### 子どもの読書活動

子ども(おおむね18歳以下の者をいう)が本を読むことはもちろん、絵本を見たり物語を聴いたり、読書会に参加したり、読書感想文を書いたりするなど子ども自身が読書に関わりを持つ活動のこと。